

IIBC NEWSLETTER

創刊号 September 2014 平成 26 年 9 月発行

TOEIC®プログラムを実施運営する国際ビジネスコミュニケーション協会が英語コミュニケーションに関するトピックスをご紹介します

CONTENTS

TOEIC SW テストとは	2
TOEIC SW テスト (モバイル実施) の流れ	3
TOEIC スピーキングテスト 能力レベル別評価	4
TOEIC ライティングテスト 能力レベル別評価	5
TOEIC SW テスト 受験者データ	6
企業・大学での TOEIC プログラム活用例	7
FAQ / 編集後記	8

IIBC 一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 (IIBC: The Institute for International Business Communication)
東京都千代田区永田町 2-14-2 山王グランドビル

TOEIC®プログラムにも 「話す」「書く」テストがあるのをご存じですか？

英語によるコミュニケーション能力を測る指標として、世界で活用されている TOEIC プログラム*1。
なかでも「話す」「書く」能力を評価する TOEIC® SW (Speaking/Writing) テストの受験者は年々増加しています。
注目が高まる TOEIC SW テストについてご紹介します。

グローバルな広がりを見せる現代社会は、実践的な英語力が必要とされる時代。国内でも、政府が英語教育改革を推進し、各企業ではグローバル人材の育成に力を注ぐなど、実践的な英語力を強化する機運が高まっています。

これまで、英語のコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通テストとして、TOEIC テストは、国内外から高い支持を得てきました。

TOEIC テストを開発・制作する ETS *2 では、国際的な環境におけるコミュニケーションで使われる英語について、数々の調査・検証を重ねてきました。その結果、英語でのコミュニケーションの中でも、「話す (スピーキング)」「書く (ライティング)」という 2 つの能力の必要性が高まってきていることがわかりました。

そこで、この 2 つの能力を測定・評価するテストを開発し、2006 年にスタートしたのが TOEIC SW テストです。

TOEIC SW テストは、主に TOEIC テストの中級から上級者レベルの方に受験を推奨されています。英語での発信力が問われる「話す」「書く」能力を、PC を使ってテストし、専門の採点者が測定・評価します。

*1 TOEIC プログラム: TOEIC テスト、TOEIC SW テスト、TOEIC Bridge の総称。

*2 ETS: Educational Testing Service
米国ニュージャージー州に拠点を置く
TOEIC プログラムを開発・制作する非営利テスト開発機関。

■TOEIC® テスト / TOEIC® SW テスト ポジショニングマップ



日常生活やビジネスシーンでの 「話す」「書く」能力を評価する TOEIC® SW テスト。

TOEIC SW テストは、英語でコミュニケーションし、発信していくための能力を測定するために開発されたテストです。日常のコミュニケーションレベルから業務上のコミュニケーションレベルまで、実社会で幅広く活用できる実践的な英語力を測れることが大きな特長です。



TOEIC SW テストとは

1. 「英語で考え、英語でアウトプットする」能力を測ります。

「解決策を提案する問題」や「意見を述べる問題」など、単なる英語力にとどまらず、思考力も試される、実践的な問題です。

2. 英語での即応即答力を測ります。

決められた短い時間の中で、質問に対して英語で即答しなければならない問題もあり、実社会での即戦力として使える英語力を試すテスト内容です。

3. 実需に基づいた英語力を測ります。

文法の間違いや発音ミスなどは円滑なコミュニケーションの妨げにならない限り、減点対象にはならず、与えられたタスクに対する的確な内容で回答できているかどうかを採点ポイントにしています。

■ テスト形式

受験者はヘッドセットを装着し、PC画面の指示に従って音声を吹き込んだり、文章を入力したりして解答します。

スピーキングテスト 20分間 11問		
音読問題	2問	アナウンスや広告などの内容の短い英文を音読する
写真描写問題	1問	写真を見て内容を説明する
応答問題	3問	身近な問題についてインタビューに答えるなどの設定で、設問に答える
提示された情報に基づく応答問題	3問	提示された資料や文章（スケジュールなど）に基づいて、設問に答える
解決策を提案する問題	1問	メッセージなどを聞き、その内容を確認した上で、問題の解決策を提案する
意見を述べる問題	1問	あるテーマについて、自分の意見とその理由を述べる

ライティングテスト 60分間 8問		
写真描写問題	5問	与えられた2つの語（句）を使い、写真の内容に合う1文を作成する
Eメール作成問題	2問	25～50語程度のEメールを読み、返信のメールを作成する
意見を記述する問題	1問	提示されたテーマについて、自分の意見を理由あるいは例とともに記述する

■ 採点・評価

北米在住で特別なトレーニングを受けて認定された採点者が、採点・評価します。

- 各スコアは0点から200点で、10点刻みで表示されます。
- スコアは、スピーキングテストでは8段階（P.4参照）、ライティングテストでは9段階（P.5参照）の「能力レベル別評価（Proficiency Level Descriptors）」で示されます。
- TOEICスピーキングテストは、「発音（Pronunciation）」「イントネーション（Intonation）・アクセント（Stress）」についても、それぞれ3段階で評価されます。

■ 受験方法 と実施形態

	受験方法	実施形態
公開テスト	・年24回 ・土曜日または日曜日の午前・午後に、1回ずつ実施	・13都道府県の中でIIBCが指定した会場より選択
IPテスト (団体特別受験制度)	・企業、学校などからの団体での申し込みに応じて、 随時実施	・「テストセンター」（東京・名古屋・大阪）、 「モバイル実施（P.3参照）」より選択 ・申込者の都合に合わせて実施が可能

TOEIC® SWテスト（モバイル実施）の流れ

TOEIC SW テストは、試験用に準備された専用の PC とヘッドセットを使用して、時間や場所を自由に設定し、テストを受けることが可能です。ここでは IP テストのモバイル実施※例をご紹介します。

※モバイル実施

IIBC から送付されたテスト専用 PC を電源につなぐだけで、簡単に試験が実施できます。テスト実施日、期間、時間を自由に設定できます。複数の拠点を持つ企業、教育機関でも、各会場にテスト専用 PC を送付しますので、社員や学生に平等に受験機会を提供できます。



1. 搬入

テストの申し込みを行うと、実施日の前日までに専用のケースに梱包されたテスト資材が担当者様宛てに宅配便で届きます。主な資材はテスト専用 PC、ヘッドセット、マウス、実施マニュアルなどです。



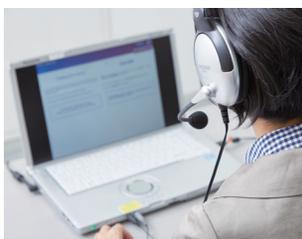
2. セッティング

テスト会場に受験者の人数分の座席を用意します。隣席の音声をマイクが拾うのを防止するため、PC は一定の間隔を空けて設置します。
※ネット環境は不要です。



3. テスト実施

当日、受験者が集まったら、実施マニュアルに沿って、担当者が事前説明を行い、辞書、録音機器などの持ち込みがないかを確認します。



4. インストラクション

受験者自身が、PC 画面の指示に沿って、受験者情報の入力を行います。また音声为正しく認識できるかを確認するため、マイクチェックが行われます。



5. スピーキングテスト

20 分間、11 問が出題されます。受験者はヘッドセットを装着し、PC 画面に出題される問題に、音声を吹き込んで解答します。短い英文を音読する、写真を見て内容を説明する、テーマについて自分の意見と理由を述べるなどが主なテスト内容です。



6. ライティングテスト

60 分間、8 問が出題されます。受験者は文章を入力して解答します。与えられた語を使い、写真の内容に合う文章を作成する、Eメールを読んで返信のメールを作成する、提示されたテーマについて、自分の意見や理由を記述するなどが主なテスト内容です。



7. 終了

受験者が退室後、返却する資料を確認してケースに戻します。後日、宅配業者が資料を回収します。テスト結果は、2 週間前後でインターネットと郵送で提供され、担当者を通じて確認することができます。

TOEIC® スピーキングテスト 能力レベル別評価

この表は TOEIC テストとスピーキングテストのスコア比較表を図式化したものです。
TOEIC スコアからスピーキングテストの各スコアを予測する目安としてご利用いただけます。



TOEIC		TOEIC スピーキングテスト Proficiency Level Descriptors (能力レベル別評価)			
スコア	スコア	レベル	能力のレベル	ディスクリプター	
990	200	LEVEL 8	業務上のコミュニケーションレベル 海外赴任レベル	一般的な職場にふさわしい継続的な会話ができる。基本的な文法も複雑な文法もうまく使いこなし、正確で的確な語彙・語句を使用している。 応答 質問に回答し、基本的な情報を提供することができる。 意見を述べる・複雑な要求に応える 非常に分かりやすい。 発音・イントネーション・アクセント 音読・自ら考えて話すときを問わず、常にとでも分かりやすい。	
	190			一般的な職場にふさわしい継続的な会話ができる。 応答 質問に回答し、基本的な情報を提供することができる。長い応答では、以下の弱点が現れることがあるが、意思の伝達を妨げるものではない。 ・発音、イントネーションにわずかだが問題があり、話すとき、躊躇することがある ・複雑な文法構造を使うときにいくつかが誤りがみられることがある ・不正確な語彙・語句の使用がいくつかがみられることがある 的確に意見を述べたり、複雑な要求に応えることができる。 音読はとでも分かりやすい。	
950	180	LEVEL 7	業務上のコミュニケーションレベル 海外出張レベル	質問への回答・基本的な情報提供に加え、意見を述べ複雑な要求に応えることも概ねできる。 応答 ほとんどの場合、質問に回答し、基本的な情報を提供することができるが、理解されにくいことがある。適切に応えることができるが、時々意見の根拠や説明が聞き手にとって不明瞭なことがある。これには、以下の理由が考えられる。 ・発音は聞き取りにくい、またはイントネーションやアクセントが不適切である ・文法に誤りがある ・使用できる語彙・語句の範囲が限られている 音読は分かりやすい。	
	170			質問への回答・基本的な情報提供は概ねできる。意見を述べ複雑な要求に応えることはある程度できる。 応答 ほとんどの場合、質問に回答し、基本的な情報を提供することができるが、理解されにくいことがある。ある程度、意見を述べたり複雑な要求に応えることができるが、以下のような問題がみられる。 ・言葉が不正確、あいまい、または同じ言葉を繰り返し述べている ・聞き手の立場や状況をほとんど、またはまったく意識していない ・間が長く、躊躇することが多い ・考えや、考えを関連づける際の表現が限られている ・使用できる語彙・語句の範囲が限られている 音読は概ね分かりやすいが、自らが考えて話すときには、時々誤りがある。	
900	160	LEVEL 6	業務上のコミュニケーションレベル (限定された範囲) 海外出張レベル	質問への回答・基本的な情報提供を行う能力・意見を述べ複雑な要求に応える能力が限られている。 応答 ほとんどの場合、質問に答えることや、基本的な情報を提供することができない。意見を述べたり複雑な要求に応えようとするが、うまくいかない。単文、または文の一部分のみで応答することがある。また、以下のような問題がみられる。 ・回答が非常に短い、または長くても理解されにくい ・聞き手の立場や状況をほとんど、またはまったく意識していない ・発音・イントネーション・アクセントに常に問題がある ・間が長く、躊躇することが多い ・語彙・語句が非常に限られている 音読は分かりやすい場合もあるが、分かりにくい場合もある。自らが考えて話すときは問題が多い。	
	150			質問への回答・基本的な情報提供を行う能力・意見を述べ複雑な要求に応える能力がかなり限られている。語彙・語句または文法が不十分なため、単純な描写をすることができない。 応答 ほとんどの場合、質問に答えることや、基本的な情報を提供することができない。困難を伴うものの、意見を述べることができる。しかし、意見の裏付けを述べることはできない。複雑な要求に対する回答は、非常に限られている。 音読であっても理解されにくいことがある。	
850	140	LEVEL 5	業務上のコミュニケーションレベル (限定された範囲) 海外出張レベル	質問への回答・基本的な情報提供を行う能力・意見を述べ複雑な要求に応えることができない。 応答 生活や職業上の決まりきったやりとりにおいて、質問に回答したり、基本的な情報の提供を試みても理解されにくい。意見や、意見の裏付けを述べたり、複雑な要求に応えることはできない。または、回答が質問の趣旨に合わない。音読であっても理解されにくいことがある。	
	130			TOEIC スピーキングテストの設問の多くに回答せず、テストのディレクションや設問の内容理解に必要な英語のリスニング・リーディング力の向上が必要である。	
800	120	LEVEL 4	日常のコミュニケーションレベル (限定された範囲)	質問への回答・基本的な情報提供を行う能力・意見を述べ複雑な要求に応えることができない。 応答 ほとんどの場合、質問に答えることや、基本的な情報を提供することができない。困難を伴うものの、意見を述べることができる。しかし、意見の裏付けを述べることはできない。複雑な要求に対する回答は、非常に限られている。 音読であっても理解されにくいことがある。	
	110			質問への回答・基本的な情報提供を行う能力・意見を述べ複雑な要求に応えることができない。 応答 生活や職業上の決まりきったやりとりにおいて、質問に回答したり、基本的な情報の提供を試みても理解されにくい。意見や、意見の裏付けを述べたり、複雑な要求に応えることはできない。または、回答が質問の趣旨に合わない。音読であっても理解されにくいことがある。	
750	100	LEVEL 3	日常のコミュニケーションレベル (限定された範囲)	質問への回答・基本的な情報提供を行う能力・意見を述べ複雑な要求に応えることができない。 応答 ほとんどの場合、質問に答えることや、基本的な情報を提供することができない。困難を伴うものの、意見を述べることができる。しかし、意見の裏付けを述べることはできない。複雑な要求に対する回答は、非常に限られている。 音読であっても理解されにくいことがある。	
	90			質問への回答・基本的な情報提供を行う能力・意見を述べ複雑な要求に応えることができない。 応答 ほとんどの場合、質問に答えることや、基本的な情報を提供することができない。困難を伴うものの、意見を述べることができる。しかし、意見の裏付けを述べることはできない。複雑な要求に対する回答は、非常に限られている。 音読であっても理解されにくいことがある。	
700	80	LEVEL 2	日常のコミュニケーションレベル (限定された範囲)	質問への回答・基本的な情報提供を行う能力・意見を述べ複雑な要求に応えることができない。 応答 ほとんどの場合、質問に答えることや、基本的な情報を提供することができない。困難を伴うものの、意見を述べることができる。しかし、意見の裏付けを述べることはできない。複雑な要求に対する回答は、非常に限られている。 音読であっても理解されにくいことがある。	
	70			質問への回答・基本的な情報提供を行う能力・意見を述べ複雑な要求に応えることができない。 応答 ほとんどの場合、質問に答えることや、基本的な情報を提供することができない。困難を伴うものの、意見を述べることができる。しかし、意見の裏付けを述べることはできない。複雑な要求に対する回答は、非常に限られている。 音読であっても理解されにくいことがある。	
650	60	LEVEL 1	日常のコミュニケーションレベル (限定された範囲)	質問への回答・基本的な情報提供を行う能力・意見を述べ複雑な要求に応えることができない。 応答 ほとんどの場合、質問に答えることや、基本的な情報を提供することができない。困難を伴うものの、意見を述べることができる。しかし、意見の裏付けを述べることはできない。複雑な要求に対する回答は、非常に限られている。 音読であっても理解されにくいことがある。	
	50			質問への回答・基本的な情報提供を行う能力・意見を述べ複雑な要求に応えることができない。 応答 ほとんどの場合、質問に答えることや、基本的な情報を提供することができない。困難を伴うものの、意見を述べることができる。しかし、意見の裏付けを述べることはできない。複雑な要求に対する回答は、非常に限られている。 音読であっても理解されにくいことがある。	
600	40	LEVEL 1	日常のコミュニケーションレベル (限定された範囲)	質問への回答・基本的な情報提供を行う能力・意見を述べ複雑な要求に応えることができない。 応答 ほとんどの場合、質問に答えることや、基本的な情報を提供することができない。困難を伴うものの、意見を述べることができる。しかし、意見の裏付けを述べることはできない。複雑な要求に対する回答は、非常に限られている。 音読であっても理解されにくいことがある。	
	30			質問への回答・基本的な情報提供を行う能力・意見を述べ複雑な要求に応えることができない。 応答 ほとんどの場合、質問に答えることや、基本的な情報を提供することができない。困難を伴うものの、意見を述べることができる。しかし、意見の裏付けを述べることはできない。複雑な要求に対する回答は、非常に限られている。 音読であっても理解されにくいことがある。	
550	20	LEVEL 1	日常のコミュニケーションレベル (限定された範囲)	質問への回答・基本的な情報提供を行う能力・意見を述べ複雑な要求に応えることができない。 応答 ほとんどの場合、質問に答えることや、基本的な情報を提供することができない。困難を伴うものの、意見を述べることができる。しかし、意見の裏付けを述べることはできない。複雑な要求に対する回答は、非常に限られている。 音読であっても理解されにくいことがある。	
	10			質問への回答・基本的な情報提供を行う能力・意見を述べ複雑な要求に応えることができない。 応答 ほとんどの場合、質問に答えることや、基本的な情報を提供することができない。困難を伴うものの、意見を述べることができる。しかし、意見の裏付けを述べることはできない。複雑な要求に対する回答は、非常に限られている。 音読であっても理解されにくいことがある。	

上記の Proficiency Level Descriptors は、TOEIC スピーキングテスト / ライティングテストを開発・制作した米国の非営利テスト開発機関 ETS (Educational Testing Service) が作成した資料をもとに、(一財)国際ビジネスコミュニケーション協会がまとめたものです。各自の TOEIC スピーキングスコアが「どの程度の Proficiency か」の目安としてご参照ください。ただし、この Proficiency Level Descriptors は本来、それぞれの状況や、各自が置かれたコミュニケーションの環境を考慮して解釈されるべき性格のものです。ですから、実際の Score Interpretation (スコアの解釈) は、現実に英語力を求める個人や企業・団体、学校によって規定されることとなります。

VOICE



PC 上で音声を吹き込むスピーキング、英文をタイピングするライティングのテストは、
外資系企業で長く働いていた頃を思い出させてくれます。
問題の内容が、当時から仕事で使ってきた英語にそっくりだからです。

(株)アイ・シー・シー 英語トレーニング指導者として、企業や学校などで講演を多数実施。
代表取締役 千田 潤一 氏 50 万部を超えるベストセラー「英会話・ぜったい・音読」(講談社) など著書多数

TOEIC® ライティングテスト 能力レベル別評価



この表は TOEIC テストとライティングテストのスコア比較表を図式化したものです。
TOEIC スコアからライティングテストの各スコアを予測する目安としてご活用いただけます。

TOEIC		TOEIC ライティングテスト Proficiency Level Descriptors (能力レベル別評価)			
スコア	スコア	レベル	能力のレベル	ディスクリプター	
990	200	LEVEL 9	業務上の コミュニケーションレベル 海外赴任レベル	<p>単純な情報を提供することも意見を述べることも的確にできる。 さまざまな構文や適切な語彙・語句を使い、自然な英語を書くことができ、文法も正確である。</p> <p>単純な情報提供・質問・指示または依頼 明確で一貫性のある、効果的な文章を書くことができる。 単純な情報を的確に伝達することができる。</p> <p>意見の記述 理由・例・説明を添えて意見を裏付けることができ、その際の記事はよくまとまり、十分に展開されている。</p>	
	190 180 170	LEVEL 8		<p>単純な情報を提供することは的確にできる。意見を述べることも概ねできる。</p> <p>単純な情報提供・質問・指示または依頼 明確で一貫性のある、効果的な文章を書くことができる。 単純な情報を的確に伝達することができる。</p> <p>意見の記述 理由・例・説明を添えて意見を裏付けることができ、その際の記事は、さまざまな構文や適切な語彙・語句が使用され、概ねよくまとまった良い文章である。ただし、以下の弱点の1つがみられることがある。 ・時折、同じ考えを必要以上に繰り返す、または述べている項目同士の関連が不明確 ・文法上の小さな誤り、または不正確な語彙・語句の選択</p>	
850 800 750	160 150 140	LEVEL 7	業務上の コミュニケーションレベル (限定された範囲) 海外出張レベル	<p>単純な情報を提供することは部分的にできる。意見を述べることは部分的にできる。</p> <p>単純な情報提供・質問・指示または依頼 明確で一貫性のある、効果的な文章を書くことができる。</p> <p>意見の記述 理由・例・説明を添えて意見を裏付けることが部分的にできる。意見と関連のある考えやある程度の裏付けを提示することができるが、以下の弱点がみられる。 ・論旨に対する具体的な裏付けや展開が不十分 ・論旨同士の関連が不明確 ・文法的な誤り、または不正確な語彙・語句の選択</p>	
650 600 550	130 120 110	LEVEL 6	日常の コミュニケーションレベル	<p>単純な情報を提供することも意見を述べることも部分的にできる。</p> <p>単純な情報提供・質問・指示または依頼 重要な情報を書き忘れたり、分かりにくい場合がある。 単純な情報の提供については部分的にできる。</p> <p>意見の記述 理由・例・説明を添えて意見を裏付けることが部分的にできる。意見と関連のある考えやある程度の裏付けを提示することができるが、以下の弱点がみられる。 ・論旨に対する具体的な裏付けや展開が不十分 ・論旨同士の関連が不明確 ・文法的な誤り、または不正確な語彙・語句の選択</p>	
500 450 400	100 90	LEVEL 5		<p>単純な情報を提供することは部分的にできるが、意見を述べる能力は限られている。</p> <p>単純な情報提供・質問・指示または依頼 重要な情報を書き忘れたり、分かりにくい場合がある。 少なくとも部分的には、単純な情報の提供ができる。</p> <p>意見の記述 理由・例・説明を添えて意見を裏付けることは、ほとんどできない。 コミュニケーションの障害となる以下のような重大な弱点がみられる。 ・意見を裏付ける例・説明・詳細が不十分、または不適切 ・考えを述べる構成が適切でない、または考え同士の関連が不十分 ・考えが十分に展開されていない ・重大な文法的誤り、または不正確な語彙・語句の選択</p>	
350	80 70	LEVEL 4	日常の コミュニケーションレベル (限定された範囲)	<p>単純な情報を提供する・意見を述べる能力は発展段階にあり、コミュニケーションがとれることは限られている。 文法的に正確な文章を作成する能力がある程度あるものの、常に作成することはできない。</p> <p>単純な情報提供・質問・指示または依頼 以下の理由で課題を完全に達成することができない。 ・情報が欠けている ・文章と文章のつながりが欠けている、またはあいまい ・文法的誤りが多い、または語彙・語句の選択が不正確</p> <p>意見の記述 コミュニケーションの障害となる以下のような重大な弱点がみられる。 ・意見を裏付ける例・説明・詳細が不十分、または不適切 ・考えを述べる構成が適切でない、または考え同士の関連が不十分 ・考えが十分に展開されていない ・重大な文法的誤り、または不正確な語彙・語句の選択</p>	
	60 50	LEVEL 3		<p>単純な情報を提供する・意見を述べる能力が限られている。 文法的に正確な文章を作成する能力がある程度あるものの、常に作成することはできない。</p> <p>単純な情報提供・質問・指示または依頼 以下の弱点が1つまたは複数みられ、課題を完全に達成することができない。 ・情報が欠けている ・文章と文章のつながりが欠けている、またはあいまい ・文法的誤りが多い、または語彙・語句の選択が不正確</p> <p>意見の記述 以下の重大な欠陥が1つまたは複数みられる。 ・無秩序な構成と不十分な展開 ・詳細情報の欠落、または関連の欠如 ・文法的誤りの頻発、または不正確な語彙・語句の選択</p>	
	40	LEVEL 2	コミュニケーションが できるレベルに 至っていない	<p>単純な情報を提供する・意見を述べる能力がかなり限られている。 文法的に正確な文章を作成することができない。</p> <p>単純な情報提供・質問・指示または依頼 単純な情報を提供することができない。このレベルに特有の弱点には、以下が含まれる。 ・重要な情報がまったく含まれていない ・記述された事柄同士につながりがなく、またはあいまい ・文法的誤りが頻発する、または語彙・語句の選択が不正確</p> <p>意見の記述 以下の重大な欠陥が1つまたは複数みられる。 ・無秩序な構成と不十分な展開 ・詳細情報の欠落、または関連の欠如 ・文法的誤りの頻発、または不正確な語彙・語句の選択</p>	
10	30 20 10	LEVEL 1		TOEIC ライティングテストの設問の多くに回答しておらず、テストのディレクションや設問の内容理解に必要な英語のリーディング能力の向上が必要である。	

上記の Proficiency Level Descriptors は、TOEIC スピーキングテスト / ライティングテストを開発・制作した米国の非営利テスト開発機関 ETS (Educational Testing Service) が作成した資料をもとに、(一財) 国際ビジネスコミュニケーション協会がまとめたものです。各自の TOEIC ライティングスコアが「どの程度の Proficiency か」の目安としてご参照ください。ただし、この Proficiency Level Descriptors は本来、それぞれの状況や各自が置かれたコミュニケーションの環境を考慮して解釈されるべき性格のもので、ですから、実際の Score Interpretation (スコアの解釈) は、現実に英語力を求められる個人や企業・団体、学校によって規定されることとなります。

VOICE



TOEIC テストだけを受け続けるより、TOEIC SW テストも併用する方が、短期間で英語力が身につきます。SW とも 200 点中 150 点が取れば、仕事でも立派に使えます。
このレベルを目指して頑張ってください！

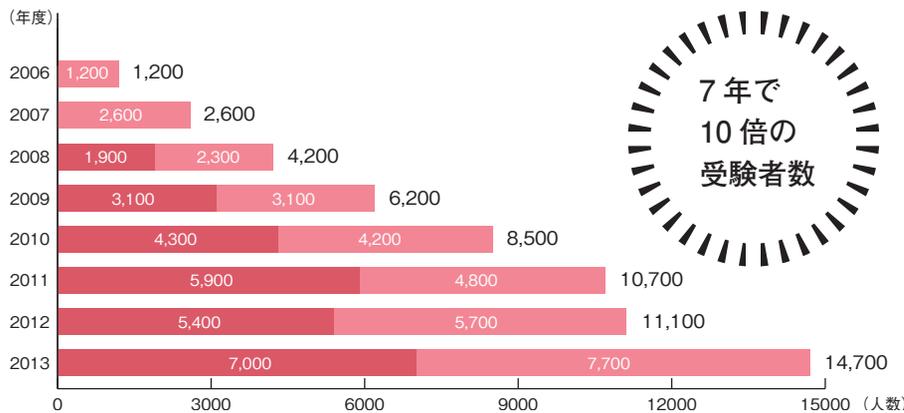
東進ハイスクール講師
安河内 哲也 氏

様々な英語参考書や英文ノベルを多数執筆。また、実用英語の普及のための活動を積極的に行う。通訳案内士。TOEIC プログラムは、4 技能すべて最高点 (LR990、S200、W200)。現在、文部科学省「英語教育の在り方に関する有識者会議」委員を務める。

受験者数も年々増加 ビジネスでのニーズが高まる TOEIC® SWテスト

2006年度よりスタートしたTOEIC SWテストは、年々知名度が高まり、それに伴って受験者数も着実な伸びを見せています。近年では、企業・団体が内定者や新入社員のレベルチェック、研修の効果測定、海外出張・赴任要件として採用するなど、さまざまな業界で幅広く活用されています。

■TOEIC SW テスト 受験者数推移 (2006-2013年)

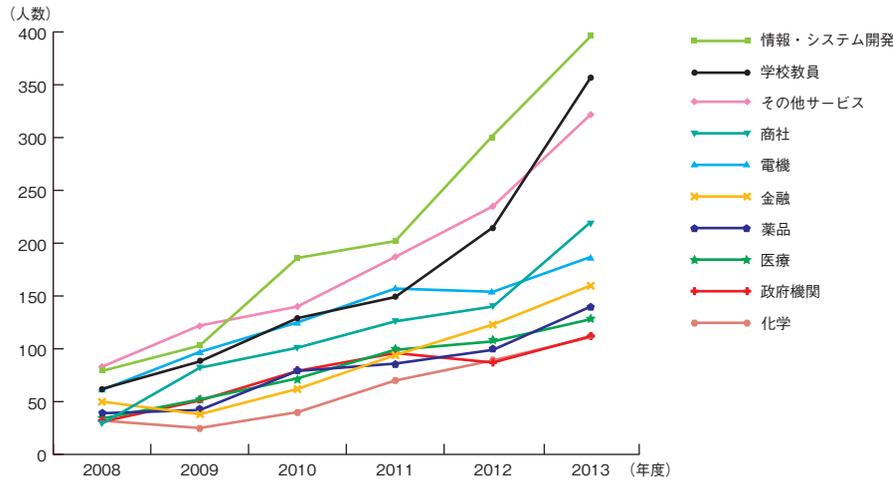


TOEIC SW テスト

受験者数推移 (2006-2013年度)

TOEIC SW テストは、当初は公開テストのみでしたが、3年目の2008年度より団体で申し込みができるIPテストが加まりました。以降、公開テスト、IPテストの受験者は、ほぼ同数ずつで推移し、両テスト共に年々増加しています。2013年度の受験者数は、スタート時の10倍を超え、14,700人になっています。

■TOEIC SW 公開テスト 業種別受験者数推移

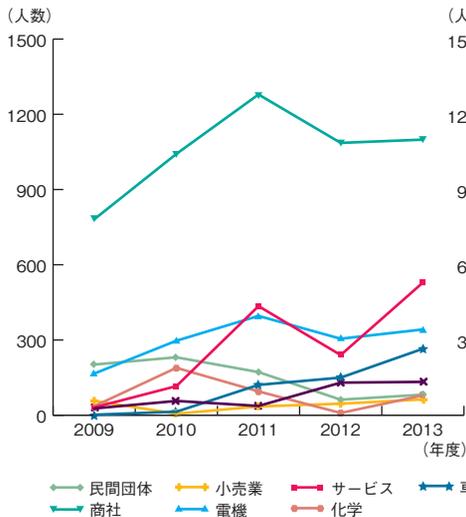


TOEIC SW [公開テスト]

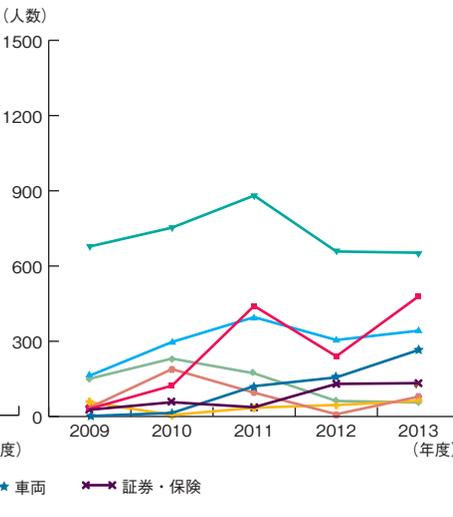
業種別受験者数推移

個人で受験する公開テストの受験者数を業種別で見ると、「情報・システム開発」「学校教員」「その他サービス」がトップ3となり、その関心の高さがうかがわれます。特に「学校教員」は、文部科学省が中学校の英語の授業を原則として英語で行う方針を定めたことなどもあってか、昨年度は顕著な伸びを見せました。それ以外にも、さまざまな業種の人が受験していることがわかります。

■TOEICスピーキングテスト 業種別受験者数推移



■TOEICライティングテスト 業種別受験者数推移



TOEIC SW [IPテスト]

業種別受験者数推移

IPテストでは、スピーキングとライティングのどちらかを選択して受験することも可能となっており、毎年、スピーキングテストの受験者が多い傾向にあります。業種別では、「商社」が他業種を引き離してトップの地位を不動にしていますが、「サービス」「車両」の伸びが顕著になっています。

企業・大学での TOEIC® プログラム活用例

英語のスピーキング、ライティングの能力を測ることで、英語学習のモチベーションを高めたり、海外出張や赴任の判断材料とするなど、企業や教育機関で TOEIC SW テストを活用する動きが広がっています。ここでは TOEIC SW テストを積極的に導入している、代表的な事例をご紹介します。

■ 企業

双日株式会社	導入目的	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルビジネスの拡大に対応するための英語力の底上げ ・TOEIC テストと TOEIC SW テストの併用でアウトプット力を強化 ・レベルアップへの刺激、学習意欲向上のきっかけとして
	活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・人事制度とも連動した英語力のガイドラインとして ・海外赴任要件として ・海外駐在要件および昇格要件 TOEIC テスト730点以上／TOEIC S テスト130点以上／TOEIC W テスト140点以上 ※英語力強化施策の概要(抜粋)
富士通株式会社	導入目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスに活用できる即戦力としての英語コミュニケーション能力向上のため ・公募型研修プログラム「英語力向上ラーニングパス」の受講者の学習レベルを把握する
	活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・将来のリーダーとして期待される 30 代前半の社員を対象とした「海外ローテーション制度」参加者の、海外のグループ会社赴任の要件の目安として ・「海外ローテーション制度」参加者の海外赴任の要件の目安として TOEIC テスト 730 点以上／TOEIC SW テスト合計 270 点以上
川崎重工業株式会社	導入目的	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC テストは、国内外業務に携わる社員の英語力アップの一環として ・TOEIC SW テストは、「海外ビジネス担当者研修」受講者へ、より一段上を目指した英語学習の動機づけをするため
	活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC テストは、毎年 1 ～ 2 月に 1 回。新入社員から 3 年目社員は必須、その他の社員は希望制 ・係長補佐への昇格要件としても活用 ・TOEIC SW テストは、6 ヶ月間の「海外ビジネス担当者研修」の修了後、ビジネス英会話の学習効果を測定する

■ 大学

明治大学	導入目的	<ul style="list-style-type: none"> ・世界で活躍できる、より高度なコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を身につけるため ・「読む」「聞く」「話す」「書く」4 技能のバランスのとれた英語力を習得するため
	活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・政治経済学部で、海外留学の前後に TOEIC テスト、TOEIC SW テストを受験させ、留学の効果を測定する
山形大学	導入目的	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を「社会人としての教養」と位置づけ、英語でコミュニケーションが図れることを目指し、4 技能のバランスのとれた英語力を向上させる
	活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・1 年生全員が年 2 回 TOEIC テストを受験。スコアを授業の成績評価の 20% として算入 ・人文学部 2 年次以降の専門教育の英語科目において、2014 年 2 月より試験的に TOEIC SW テストを実施
東洋大学	導入目的	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル人材に必要な、英語コミュニケーション能力を「可視化」するため ・英語力のバランスと発信力を高めるため
	活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC スコア 500 点以上の希望者に TOEIC SW テストを実施（受験料補助） ・カリキュラムや学習支援プログラムで、対策講座や準備講座を開講 ・海外留学促進のための奨学金給付の基準として現在使用している TOEIC スコアに、TOEIC SW スコアを追加して採用する予定
立命館大学	導入目的	<ul style="list-style-type: none"> ・生命科学部・薬学部共通のカリキュラム「プロジェクト発信型プログラム」は、受信と発信のサイクルが不可欠なため、TOEIC SW テストでスピーキングとライティングを評価することはプログラムの意義に合致する
	活用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2 年生全員が年に 2 回 TOEIC テストを受験。希望者が TOEIC SW テストを受験している 両方を受験することで、4 技能を直接評価する ・継続受験により、受信・発信双方の能力の「伸び」を評価する

IIBC 作成資料より一部引用

企業担当者の声

大成建設株式会社

新入社員研修の一環として、2014 年度新入社員全員が TOEIC テスト (Listening/Reading) と Speaking テストを受験。

TOEIC テスト (Listening/Reading) に加えて、TOEIC Speaking テストを活用することで、ビジネスに求められる英語の受信力と発信力両方の現時点の能力を社員自身に把握させることができた。今後、各自が、スコアに応じた効果的な学習方法を選択し、英語による業務遂行能力を身につけることを期待している。

人事部人材いきいき推進室 北詰 高太郎 氏

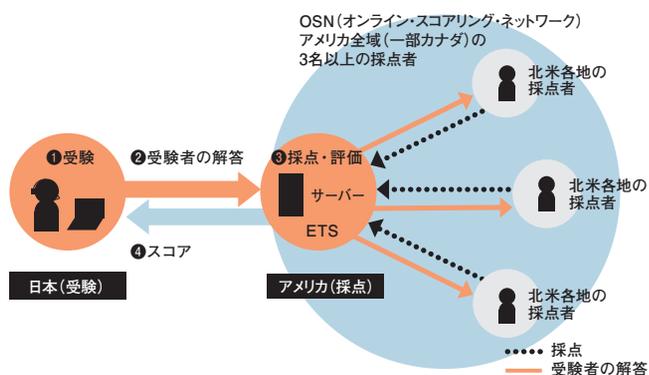
FAQ

Q1 採点はどのように行っているか。

A1 受験者の解答は米国ETSのオンライン・スコアリング・ネットワークに送られ、採点者に割り振られます。ETSでは受験者1名の解答につき、最低3名以上の採点者が採点するようにランダムに割り振っています。採点者は受験者のバックグラウンドや担当以外の設問の解答内容が分からない状態で採点を行うため、先入観による不適切な評価を防ぐことができます。

なお、スピーキングテスト、ライティングテストいずれも採点は減点方式ではありません。基本的には受験者が解答した内容全体をみることでその方のコミュニケーション能力を判断しています。つまり、全体の意味が変わってしまうようなスペルミスや、発音やイントネーションにおかしな点がある場合でも、意思疎通に問題ないと判断できる程度であれば採点には影響しません。

■ TOEIC SWテスト オンライン・スコアリング・ネットワーク



Q2 採点はどのような人たちが行うのか。

A2 TOEIC SW テストの採点は、米国ETSに採用された採点者によって行われます。

採点者は皆、北米在住でネイティブかネイティブと同等の英語力を持ち、英語教育に従事した経験がある人たちです。採用にあたっては厳しい基準がある上、採点当日も基準合わせのためのテストに合格しないと採点することができないなど、徹底した管理が行われています。

Q3 IPテストにおける団体の定義は。

A3 企業や学校などの団体に所属している方（従業員・職員・学生・生徒）を対象とし、5名以上のお申し込みがあれば実施できます。

Q4 受験料はいくらか。

A4 IPテスト（団体特別受験制度）は、スピーキングテスト：6,170円（税込）、ライティングテスト：6,170円（税込）、スピーキングテスト/ライティングテスト：9,050円（税込）です。

公開テストは、IIBCが定める日時・場所（設定会場から選択可能）で受験するものです。価格はスピーキングテスト/ライティングテスト：10,260円（税込）です。こちらはセットでの受験になります。

Q5 TOEIC SWテストはどこで受けられるのか。

A5 IPテストは、受験される企業・団体の会議室や学校の教室などで実施できます。

公開テストは、全国13都道府県の指定会場で、年24回実施しています（受験地により実施回数異なります）。

編集後記



“グローバル化”という言葉が毎日のように目にします。日本人の英語コミュニケーション能力向上の重要性が社会に広く謳われる中で、TOEICプログラムのこと、またIIBCの活動をもっと知っていただきたいとの思いから、ここにIIBC NEWSLETTERを創刊いたします。

今夏には、記者の皆様へTOEICスピーキングテスト/ライティングテストの体験会も開催させていただきました。体験のご希望やご質問などございましたら、ぜひご連絡ください。私たち広報室が対応させていただきます。皆様からのお問い合わせをお待ちしております。

(IIBC 広報室一同)

お問い合わせ



一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会
広報室 03-3581-4761 pr@toeic.or.jp

東京都千代田区永田町 2-14-2 山王グランドビル
TOEIC 公式サイト <http://www.toeic.or.jp>